



ほど進むと、左側の山が崖崩れ。これから先は車では進めません。林道の中央に駐車してそこからは徒歩で山荘に向かいました。ここから上部はコンクリート道路で、穿孔はありませんが土砂が山側の道を覆っていて歩行困難です。山荘に入る側道まで3カ所の崖崩れがありました。土砂の排除は人力ではとても手に負えないので、重機で排除するのを待つしか有りません。市役所の



話では多くの林道が被害を受けていて優先順位は低いようです。そして山荘に向かう側道に入ると落葉と動物が掘った穴が目立つくらいで被害はありませんでした。ログハウス・倉庫・ホール・キャビンを確認したところと雨漏りや破損もありませんでした。林道の復旧工事は来春になる予定ですから、山荘を11月から閉鎖します。大河原橋で地元の住人に話を聞くことが出来ましたその男性は10年ほど前にも同じ場所が崩れていたと話してくれました。10年に一度はこの規模の災害があるのでしょうか。佐久では千曲川氾濫・橋の倒壊など復旧には時間がかかりそうです。今回の大雨特別警報発令・雨量や経験を生かして今後の安全対策に行かしたいと思います。

